

2023年も残すところあとわずかになりました。この2学期を振り返ると、大変な暑さが続いたり、突如インフルエンザが猛威をふるったりと、コロナ禍と変わらない状況で教育活動を進めていかなければならない状況だったと感じます。

そのような中でも、子どもたちはそれぞれ自分のやれることに励み、ご家庭の支えもあり、学習発表会など様々な場面で成果を発揮することができました。ありがとうございました。

さて、先日お願いさせていただいた今年度の教育活動を振り返ってのアンケートにお取り組みいただきありがとうございます。学校は今後、今年度の活動を振り返りながら、来年度に向けての準備に入っていきます。味鋤小学校として、どのような子どもを育てて生きたいかをさらに検討していきたいと思えます。今後ともよろしく願いいたします。よいお年を迎えられることをお祈りいたします。



【11月27日 朝会 学習発表会振り返り】

先週まで学習発表会を行いました。みなさん日頃の学習の成果を自信をもって発表することができましたか。

簡単ではありますが、校長先生が見させてもらった感想をそれぞれの学年について話したいと思えます。発表があった順番に話します。

最初は5年生。「様々な立場の人の暮らしについて知ろう」というテーマで、グループごとに発表しました。障害を抱えている方や高齢者の暮らしについて、調べたことをもとに、クイズや実演を通して大変分かりやすく発表することができました。学んで得られたたくさんの気づきを、ぜひ実際の生活の場で生かして欲しいと思えます。

3年生は、味鋤の歴史について、劇風に演じました。めおとつばきややぶさめ、かみなり神社、首切り地蔵、味鋤いも、そして味鋤小学校について、せりふも大変聞きやすく、内容についてもよく調べられていたと思えます。味鋤にはまだまだ多くの歴史がありそうです。今後もぜひ探究して欲しいと思えます。

たんぽぽ・さくら組は、授業の中で体験したポッチャというスポーツを保護者の方と一緒にしました。看板の製作や、保護者へのポッチャの説明など、自分たちの力でよく頑張っていました。応援をしたり、お互いの結果をたたえ合うなどしたりして、大変あたたかい雰囲気の中で活動することができました。

2年生は生活科の「わたしたちのまち発見」のテーマで、味鋤学区にある様々な施設やお店を訪問して教えていただいたことをもとに、たくさんのポスターをつくり上手に発表することができました。写真もたくさんあり、元気よく分かりやすく発表することができました。様々な人たちによって、自分たちの生活が支えられていると気付くことができましたのではないのでしょうか。

4年生は「地域の伝統に親しもう」というテーマで、調べたり実際に体験したりしたことをもとに発表しました。北区周辺に残る伝統文化として、名古屋友禅、名古屋提灯、からくり人形などがあると紹介がありました。また、名古屋囃子の盆踊りを披露したり、体験で教わってきた和太鼓を全員演奏することができました。学習を通して、伝統を受け継ぐ大切さを感じるとともに、我が国に伝わる文化に親しみを感じているように思いました。今後も、様々な文化に触れ、多くのことを感じ取ることができるようになって欲しいと思えます。

1年生は生活科「あきとなかよし」の単元で学んできたことをもとに、グループごとにお店屋さん開催方式で発表しました。校外学習で集めたまつぼっくりやどんぐりなどを使いながら、保護者の方にも楽しんでもらえるようたくさん工夫がたくさんされていました。原稿を見ずに、自信をもって楽しそうにお店屋さんを演じている様子が印象的でした。これから先が大変楽しみとなるような発表でした。

最後は6年生。「日本の文化や歴史を調べよう・まとめよう」というテーマで、修学旅行で学習したことを中心に、プレゼンテーションソフトを使って分かりやすく発表しました。興味をもってもらうようなプレゼン資料を、様々な工夫して、さらに楽しんでつくったのだろうという感想をもちました。中には、京都で取り組んだ伝統工



芸の体験を、保護者の方と一緒に取り組むことができる発表もあり、充実したものでした。日本特有の文化について、体験や見学、調べ学習を通して多く学んだことが伝わる内容でした。今後、さらに見方や考え方、興味がどんどんと広がり、探究がさらに充実していくことを期待したいです。

どの学年も、本当に素晴らしい発表でした。みなさんがとても輝いて見えました。ぜひこの活動をきちんと振り返り、キャリアパスポートなどにまとめておいてほしいと思います。今後のさらにレベルアップした活動につながるはずです。

【12月11日 人権講話 自分も人も大切に作る言葉】

今日は自分や人を大切に作る言葉について考えてみたいと思います。

まず、1冊の絵本を読みます。

内容は、みなさん聞いたことがあると思いますが、「ふわふわことば」と「ちくちくことば」に関するものです。途中、絵本の内容を少し変えたところがありますので、説明しながら読んでいきたいと思っています。



- 「ふわふわとちくちく」読み聞かせ。読み聞かせ後学習シート記入。(ちくちく→ふわふわの言い換え。「やだ!」「うるさい!」「やってよ!」「きれい!」をふわふわ言葉に。)

言い換える前の言葉で言われたときと、言い換えた後の言葉で言われたときの気持ちの違いについても感想を伝え合ってみましょう。

さて、今日はもう一つ、金子みすゞさんという人が書いた詩を紹介したいと思います。「こだまでしょうか」という詩です。聞いたこともある人が多いのではないかと思います。

こだまでしょうか
金子みすゞ

「遊ぼう」っていうと
「遊ぼう」っていうと
「馬鹿」っていうと
「馬鹿」っていうと
「もう遊ばない」っていうと
「もう遊ばない」っていうと
そうして、あとで
さみしくなって、
「ごめんね」っていうと
「ごめんね」っていうと
いいえ、だれでも、
こだまでしょうか、

- 「こだまでしょうか」の朗読。

さて、どんな感想をもちましたか。気付いたことや疑問に思ったことはありますか。「こだま」というのは、山に行ったときなどに、「ヤッホー」と大きな声で言うとそのままその言葉が跳ね返ってくるものですね。

この詩に書かれている言葉を聞いて、思い当たることはありませんか。金子さんが最後に言っている、「こだまでしょうか、いいえ誰でも」ということはどんなことを言おうとしているのでしょうか。

そして、この金子さんの詩と同じようなことを言おうとしているのが、先ほど絵本にあった内容(25ページの内容…「あなたがちくちくことばを使えば相手もちくちくことばを使いたくなる。ふわふわことばを使えば、相手もふわふわことばを使いたくなる」という内容)があてはまるのではないかと思います。

- 学習シート記入。(こだまでしょうかを聞いて。この学習で大切なことは。)

ぜひ、みなさんのまわりがふわふわ言葉、やさしい言葉が響き渡るようになると思います。「自分も他の人も大切に」という気持ちをもって生活しましょう。

<児童がワークシートに記述した内容より>

【今日の学習で一番大切なことは?】

- 自分も人も傷つけてはいけない。
- 人のことを「大切に」思うことが大事と言うことを学んだ。
- たった一つの言葉で、相手の気持ちや自分の気持ちが傷ついてしまうという勉強。
- ちくちく言葉は、一言でも人を傷つけてしまう。でも逆にやさしい言葉でいっぱいにしたらみんなが幸せになれる。でも、ちくちく言葉からふわふわ言葉にかえるのは、実際にやってみて難しいことが分かった。
- 相手にとっても自分にとってもやさしい言葉を使わないと自分もいい気分になれないし、相手もいい気分になれないから、きつい言葉を使うのではなく、やさしい言葉を使うようにしないといけない。